

令和5年度（2023年度）行政評価シート【個表】

令和 5 年 6 月 23 日

評価対象事業		評価者	農水課担当課長	太田 朋彦
都整-27	農道整備事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	農水課
重点事業		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	産業振興	施策の方針	農業・漁業の振興

1 事業の目的

対象	農業従事者等
意図	農業生産基盤を整備し、生産性の向上、農業経営の安定化を図るため。
効果	生産性の向上、農業経営の安定化

2 令和4年度(2022年度)に実施した事業の概要

・鎌倉農業振興地域整備計画に基づき農道整備工事及び管理図面の作成を行った。

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和4年度		令和5年度	達成度
				指標(実績値/目標値)	事業費(決算/当初)(千円)	指標(目標値)	
01	農道整備事業	農道工事の実施及び管理図面の作成、農道整備補助金	受益面積 (ha)	3.2 / 1.9	47,145 / 1,265	- 2,200	168.42%
02				/	/		
03				/	/		
04				/	/		
05				/	/		
06				/	/		
07				/	/		
08				/	/		
09				/	/		
10				/	/		
		財源 内訳	国県支出金	31,675 /			
			地方債	12,400 /			
			その他特定財源	/			
			一般財源	3,070 / 1,265		2,200	
			事業費の合計(千円)		47,145 / 1,265		2,200
		人件費(千円)			7,596	8,572	

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	1.1	1.1	1.0	1.1		
会計年度任用職員	0.0	0.0	0.0	0.0		

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	農道整備事業	当初令和3年度に整備を予定していた路線であり、地権者との手続きに必要な工期が十分確保できたため、目標としていた指標を達成することができた。 また、農道整備補助金についても、手続きに必要な期間が十分確保できたため、目標としていた指標を達成することができた。	農業生産基盤を整備することは、生産性の向上、農業経営の安定化につながることから、実施事業としては妥当である。	工事期間が農閑期で完了しないため、隣接する農家との調整が必要となった。
02				
03				
04				
05				
06				
07				
08				
09				
10				

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	3 外部化ができる事業はない
	関連・類似する事業の統合はできないか	3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	3 民間によるサービスで代替できる事業はない
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-2 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施 △-2 市民等と協働して実施する事業はない
		協働実施済の場合のパートナー

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 改善・変更	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止・廃止
<p>鎌倉農業振興地域整備計画に基づいて選定した農道6路線(①～⑥)のうち、令和3年度は、路線⑤及び路線⑥の農道整備工事を実施し、令和4年度は、路線①の半分、路線③及び路線④の農道整備工事とともに、令和3年度に整備を実施した農道の管理図面を作成した。令和5年度は、令和4年度に整備を実施した農道の管理図面を作成し、農道6路線(①～⑥)の整備自体は完了予定である。今後、鎌倉農業振興地域整備計画の見直しを行った上で、農業振興に必要な施策を展開していく。</p>					

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	受益面積						単位	ha
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
農作業における環境改善を図れているか判断するため	目標値	2.6	4.3	1.9				
	実績値	2.6	3.0	3.2				
	達成率	100.0%	69.8%	168.4%				

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	遊休農地の面積及び管内農地面積における遊休農地の割合(令和3年度末データ)							
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	寒川町			
他市実績	6.2ha	15.0ha	13.8ha	19.8ha	3.0ha			
	6.3%	1.7%	3.2%	1.4%	1.4%			

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	農地面積は市町村で大きな差があるため、管内農地面積における遊休農地の割合を比較する。
--------------------------	--